

K社導入事例：プロジェクト全体概要

日系ポンプ、モータ会社



油圧ポンプ

斜板形斜軸形アキシャルピストンポンプ、スクリューワンポンプ、精密ギアポンプ



油圧モータ

斜板形アキシャルピストンモータ、低速高トルククラジアルピストンモータ

会社名称 K社の1拠点

成立日 2002年

主な事業内容 船とクレーン用部品

導入されたPKGとモジュール

EXPLANNER PKG

受注・出荷

財務I/F

生産

用友PKG

総勘定元帳

購買管理

固定資産

UFO帳票

給与

買掛管理

原価管理

在庫勘定

メリット：

- ①ERPを軸に使用中財務会計用友システム、作業指示システム（かんばん発行、銘板刻印）、且つデジタルピッキングシステム（作業指示に基づく部品出庫）と連動するシステムを構築できる
- ②Explannerの導入だけでなく、用友のバージョンアップとモジュールの追加も行う
- ③マスタをERP側で管理するように一元化管理へ変える

課題

- システムカバー領域が少なく且つお互いに連動していないので業務が複雑になっている
- 各システムで2重管理している物が多いため効率が悪く、間違いを誘発させている
- 業務拡大を予定しているが今のシステム基盤のままで拡大が困難

目標

- 生・販一体化で情報共有化、マスタメンテ工数低減
- 生産計画立案、生産指示と材料発注用工数低減
- 給与管理部分の入力工数が削減
- 実際原価計算連動実現できる

効果

- ①バラバラに導入されたシステムがERPを軸に連携できるようになり重複作業が減った
(独自システムのマスタ管理もERP側に集結させた)
- ②開発した生産計画平準化ツールにより生産計画の立案工数が大幅に削減できた
- ③ERPのMRP機能により発注計画立案、生産指示情報を作成できるようになり、EXCELツールで行っていた時より、精度向上、工数削減が図れた
- ④給与管理部分で外注に依頼していた入力作業を、蓄積データからの一括登録に変える事で、外注に払っていた毎月の費用を削減できるようになった(人事コンサル費用のみになった)
- ⑤固定資産管理を資産毎にグループ管理する用に変え、実際原価計算連動できるよう変更する事で管理が楽になった